

平成23年4月1日

平成23年度定期採用者入庫式について

横浜信用金庫（理事長 齋藤 寿臣）では、本日午前10時より、平成23年度定期採用者の入庫式を行いました。今年度は総合職31名、一般職41名、合計72名が入庫し56部店に配属されました。入庫式では、理事長より下記要旨の訓示を行いました。

記

<理事長訓示の要旨>

本日から横浜信用金庫の職員となる皆さんを心から歓迎します。

最近の日本経済は盛り上がり乏しく、求人数の問題もあり、大変厳しい就職状況となりました。当金庫にも多くの志望者がありましたが、皆さんはその厳しい競争を勝ち抜いて本日の入庫式を迎えられた大変優秀な人材であります。

1. 信用が大事である

当金庫に預金をされる方は、生命の次に大事なお金が、約束した時期に利息がついて戻ってくることを信用し、また、送金をする方は迅速かつ正確に相手にお金が振り込まれることを信用しているわけです。

当金庫の信用はとりもなおさず職員ひとりひとりの信用の積み重ねです。皆さんが健全な生活態度を維持し、真面目な執務態度や正確な事務処理、きちんとした服装をすることが当金庫の信用に繋がります。

また、信用の面では、物理的な業務継続に関する信用も大事です。

例えば、震災に遭ってもガソリンや日用品を買うなどお金は必要です。状況が少し悪くても金融機関は開店して、お客さまの必要な金融サービスを提供しなければなりません。このためには職員の熱意と努力、つまり心構えが大変重要です。

2. 自分の能力の向上—研修や勉強の必要性—

仕事をしていくためには、常に自己開発のための努力が必要です。当金庫では段階に応じて研修プログラムや通信教育講座がありますので積極的に参加してください。

また、経済専門の新聞または新聞の経済欄を読む習慣を身につけることをお願いしたい。日々の仕事の上でも、またお客さまとの会話でも読んでいることがどんなに役立つか解ると思います。

3. 常に地域のために役立つことを心がける

当金庫は神奈川県東部を主要基盤とする地域金融機関です。この地域は関東大震災や横浜大空襲等数々の苦難に打ち勝って力強く前進してきました。地域の発展はとりもなおさず当金庫の発展に繋がります。

当金庫は地域金融機関としてできるだけ多くの地域の皆様にご利用いただくよう努力しています。皆さんには、これから勤務される地域を詳しく知ることそして愛着を持つことをお願いしたい。

支店によっては地域の商店街等の催しに協力しています。その際は、若い皆さんの積極的な参加を期待します。

当金庫は創立以来、常に地域での存在感のある金融機関として発展してきました。これからも着実にこの道を歩んでいきたいと思えます。一日も早く横浜信用金庫の立派な職員となることを期待します。

* 定期採用者内訳

・総合職	31名	(大卒：31名)	
・一般職	41名	(大卒：35名	短大卒：6名)
	合計72名	男性：24名	女性：48名

以 上

たしかな明日のお手伝い



横浜信用金庫

神奈川・東京に60店舗